

事新報社, 2020. p.1226.

V. その他

1) 飯村慈朗. 書評・新刊案内 『顔面骨への手術アプローチ』. 週刊医学界新聞 2020 ; 3358 : 6.

麻 醉 科 学 講 座

	講座担当教授：	上園 晶一	小児麻酔, 心臓血管外科麻酔, 肺高血圧の診断と治療
教	授：	近江 禎子	区域麻酔
教	授：	下山 直人	緩和医療, 疼痛治療(がん, 非がん)
教	授：	木山 秀哉	静脈麻酔, 困難気道管理, 麻酔中の脳波, 周術期危機管理, 麻酔を支える自然科学
教	授：	下山 恵美	緩和医療, 疼痛治療(がん, 非がん)
教	授：	瀧浪 將典	集中治療, 医療安全, 終末期医療と臨床倫理
教	授：	坪川 恒久	成人心臓麻酔, 薬物動態, 脳機能
教	授：	石黒 芳紀	成人心臓麻酔, 循環生理薬理, 体外循環
教	授：	近藤 一郎	脊髄における疼痛機序, 術後疼痛管理
教	授：	鈴木 昭広	気道管理, ポイントオブケア超音波, 医療安全
教	授：	三尾 寧	麻酔薬の臓器保護作用, 麻酔の質管理
教	授：	桜井 康良	産科麻酔
准 教	授：	倉田 二郎	麻酔全般, 困難気道管理, ベインクリニック, 救急・集中治療, 意識と痛みの脳神経画像法研究
准 教	授：	藤原千江子 (厚木市立病院に出席中)	呼吸, モニター
准 教	授：	内野 滋彦	集中治療, 急性腎傷害, 血液浄化
准 教	授：	庄司 和広	術後疼痛管理
准 教	授：	鹿瀬 陽一	集中治療, エンドトキシン, 蘇生教育, シミュレーション医学教育
准 教	授：	香取 信之	血液凝固モニタリング, 周術期出血治療
准 教	授：	須永 宏	筋弛緩薬

准 教 授	： 虻川有香子	小児麻酔，小児気道管理（SGD）	データ取得中
准 教 授	： 山川健太郎	心臓自律神経調節による，致死性心室性不整脈の予防および治療戦略	4. 麻酔導入時に香り付マスクを使用し，小児患者のストレス軽減となるか（虻川有香子）：論文作成中
講 師	： 肥田野求実	区域麻酔	5. 小児輪状甲状間膜穿刺の安全性向上のための穿刺モデルの開発：超音波エコーによる挿管時の気管の変位についての検討（虻川有香子）：論文作成中
講 師	： 照井 貴子	循環生理	6. 小児ベクタスパー挿入術における経胸壁心エコーによる心臓の動きの解析について（虻川有香子）：データ取得中
講 師	： 木田康太郎	蘇生後脳障害に対する治療法の開発，吸入ガス，虚血再灌流障害，脊髄虚血性障害	7. 小児手背静脈モデルの開発（虻川有香子）：倫理委員会
講 師	： 遠藤 新大	集中治療，輸液，栄養	8. 頭低位腹腔鏡下手術における咽頭分泌物のpHと咽頭痛・嘔声の関係について検討（虻川有香子）：倫理委員会
講 師	： 福島 東浩	集中治療	9. McGrath MAC ビデオ喉頭鏡を使用した際の喉頭展開にかかる圧の測定（虻川有香子）：倫理委員会
講 師	： 齋藤慎二郎	集中治療，急性腎傷害，播種性血管内凝固症候群	10. 着衣の工夫：手術当日，病棟から手術室入室までの着物は，術前の不安を軽減させることができるか（虻川有香子）：倫理委員会
講 師	： 池田 浩平	虚血再還流傷害，ナノデバイスの医薬応用	11. 超短時間作用型非脱分極性筋弛緩薬の開発を目指した基礎的検証（須永 宏）：データ取得中
講 師	： ハシチウオヴィッチ・トマシュ	術後鎮痛管理	12. 深い筋弛緩維持のためのロクロニウム持続投与量の検討（須永 宏）：データ取得中
講 師	： 吉田 拓生	救急・集中治療，循環器，重症患者の新規心房細動，ポイントオブケア超音波	13. ラット摘出灌流心臓における心筋収縮動態の高精度解析（照井貴子）：データ取得中

教育・研究概要

麻酔科学講座の研究は，基礎，集中治療，緩和，ペインの4部門に分かれる。ここでは，2020年3月の段階で倫理委員会または動物実験委員会にて承認を受けており，かつ，麻酔科学講座に所属する者が研究代表者を務める研究課題について，研究課題名，研究代表者，進捗状況を列挙する。論文として発表されたものに関しては，研究業績を参照することにして，ここでは述べない。

I. 研究

1. 中枢神経系に及ぼす筋弛緩薬の作用機序の解明（上園晶一）：論文投稿中
2. 遊離皮弁手術における周術期目標指向型輸液療法の前向き調査（近藤一郎）：論文作成中
3. 経胸壁超音波エコーを使用した健常者におけるConcord体位（腹臥位+頭高位）の循環血液量の変化についての研究（虻川有香子）：論文作成中
4. 麻酔導入時に香り付マスクを使用し，小児患者のストレス軽減となるか（虻川有香子）：論文作成中
5. 小児輪状甲状間膜穿刺の安全性向上のための穿刺モデルの開発：超音波エコーによる挿管時の気管の変位についての検討（虻川有香子）：論文作成中
6. 小児ベクタスパー挿入術における経胸壁心エコーによる心臓の動きの解析について（虻川有香子）：データ取得中
7. 小児手背静脈モデルの開発（虻川有香子）：倫理委員会
8. 頭低位腹腔鏡下手術における咽頭分泌物のpHと咽頭痛・嘔声の関係について検討（虻川有香子）：倫理委員会
9. McGrath MAC ビデオ喉頭鏡を使用した際の喉頭展開にかかる圧の測定（虻川有香子）：倫理委員会
10. 着衣の工夫：手術当日，病棟から手術室入室までの着物は，術前の不安を軽減させることができるか（虻川有香子）：倫理委員会
11. 超短時間作用型非脱分極性筋弛緩薬の開発を目指した基礎的検証（須永 宏）：データ取得中
12. 深い筋弛緩維持のためのロクロニウム持続投与量の検討（須永 宏）：データ取得中
13. ラット摘出灌流心臓における心筋収縮動態の高精度解析（照井貴子）：データ取得中
14. 心肺蘇生後脳症の鎮静剤による脳保護戦略（木田康太郎）：データ取得中
15. 二酸化炭素を用いた脊髄虚血に対する新たな治療戦略（木田康太郎）：データ取得中
16. 心停止蘇生後脳障害に対するミトコンドリア標的型治療薬の効果の検証（池田浩平）：データ取得中
17. 心停止蘇生後脳障害に対する水素ナノバブルの治療効果の検証（池田浩平）：データ取得中
18. マウス心停止蘇生モデルにおける一酸化窒素ナノバブル水の治療効果の検証（池田浩平）：データ取得中
19. 重症手術症例において慈恵医大附属病院で行われるハイリスクカンファレンスに関する検討（小池正嘉）：論文作成中
20. 硬膜外麻酔における偶発的硬膜穿刺のリスク因子に関する後ろ向き臨床研究（高野光司）：論文作成中

21. concord 位における血行動態の変化 (藤岡頌子): データ取得中
22. アセトアミノフェンによる肝障害の検討 (藤岡頌子): 論文作成中
23. 胸腔鏡手術を受ける肺癌患者におけるプロポフォルの術後心房細動の減少効果に関する検討 (田島果林): 論文作成中
24. ブルガダ型心電図を有する患者の周術期心合併症の発生に関する調査 (田島果林): 論文作成中
25. QT 短縮症候群の患者の周術期心合併症の発生に関する調査 (田島果林): データ解析中
26. QT 延長症候群の患者の周術期心合併症の発生に関する調査 (田島果林): データ取得中
27. 血管外科手術患者における, 血圧脈波検査と周術期心血管合併症との関連についての調査 (田島果林): データ取得中
28. 全身麻酔は局所麻酔と比較して重症大動脈弁狭窄症合併患者における術後の心臓合併症の発生を抑制する可能性がある (土井万由子): 論文作成中
29. 漏斗胸患者における胸郭形成を目的としたベクタスパー挿入による心臓の電気生理学的特性への影響 (土井万由子): データ解析中
30. 婦人科の術後鎮痛 (生天目磨依): データ取得中
31. 全身麻酔術後回復室における, 長期滞在患者と術後急変リスクとの相関に関する研究 (八木洗輔): 論文作成中
32. 心臓外科手術患者における TEG[®]を使用したフィブリノゲン値と血小板値予測 (倉田早織): データ解析中
33. 非心臓手術において術中低血圧が予後へ及ぼす影響 (倉田早織): データ解析中
34. 非心臓手術中低血圧イベントの発現と術後急性腎障害との関連性に関する実態調査 (倉田早織): データ解析中
35. 認知症患者における覚醒時 BIS 値の検討 (田口 愛): データ解析済
36. Brugada 型心電図を有する患者の待機的非心臓手術における麻酔経験: 5 年間の後方視的検討 (宮崎千佳): 論文作成中
37. 重症患者における急性腎傷害に対するカルペリチドの有効性に関する研究 (齋藤敬太): 論文掲載
38. 集中治療室における代謝性アシドーシスの診療実態調査 (齋藤慎二郎): データ解析中
39. 重症患者の新規心房細動に関する多施設レジストリの構築 (吉田拓生): 論文作成中
40. 血液ガス分析装置による AKI の早期診断 (高折佳央梨): 論文掲載
41. 敗血症に関する多施設観察研究 (青柳佑加理): データ解析中
42. 薬剤の希釈液の種類の違いによる影響 (青柳佑加理): 論文作成中
43. SGLT2 阻害薬内服患者における術後アシドーシス発生に関する後ろ向き観察研究 (浅野健吾): 論文作成中
44. 当院集中治療室へのダンピングデバイス「R.O.S.E.[®]」導入における前後比較研究 (浅野健吾): IRB 申請中
45. 難治性疼痛及び慢性疼痛に対する学際的治療の多面的評価 (倉田二郎): データ取得中
46. 慢性痛に対する認知行動療法の無作為化比較試験による効果検証 (倉田二郎): データ取得中
47. 磁気共鳴画像法を用いた慢性疼痛脳バイオマーカーの確立 (倉田二郎): 論文作成中
48. ミクログリア画像化 PET とマルチモーダル MRI による痛みの疾患別バイオマーカーの確立 (倉田二郎): 倫理委員会審査中
49. 神経ブロック療法を主体とした治療が慢性痛患者の QOL に及ぼす影響について (北村俊平): データ取得中
50. 肺悪性腫瘍手術および膝関節置換術後の遷延性術後痛前向き調査 (八反丸善康): データ解析中
51. 日本集中治療医学会主催の ICU 入室患者登録システム事業への参画 (鹿瀬陽一): 論文作成中
52. JIKEI Airway management for patient safety course (JAMP) 受講前後でのビデオ喉頭鏡による挿管技術の向上調査 (鹿瀬陽一): 論文作成中
53. 胸筋神経ブロックが乳房切除・乳房部分切除術に与える効果の検討 (木村昌平): 論文作成中
54. マッキントッシュ型ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管教育の有用性の検討 (山本 祐): 論文作成中
55. 婦人科悪性腫瘍患者に硬膜外鎮痛と腹直筋鞘ブロックの比較検討 (國吉英樹): 論文作成中
56. 脊髄くも膜下麻酔による硬膜穿刺抵抗の主観的測定と客観的測定 (内海 功): 論文作成中

V. 公的研究費

2019年度における公的研究費獲得の結果は以下の通りである。

1. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)・継続：
ミトコンドリア障害が関与する対称性遠位末梢神経障害の治療法の検討 (下山恵美)
2. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)・継続：
蘇生後脳障害に対する新規ミトコンドリア標的型治療薬の開発と治療効果の検証 (池田浩平)
3. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)・新規：
超短時間作用型非脱分極性筋弛緩薬の開発を目指した基礎的検証 (須永 宏)
4. 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)・新規：
二酸化炭素による新たな脊髄保護戦略 (木田康太郎)
5. 科学研究費助成事業 若手研究・新規：安全性向上のための小児輪状甲状間膜穿刺モデルの開発：3D プリンターの適応 (虻川有香子)
6. 科学研究費助成事業 若手研究 (独立基盤形成支援)・新規：安全性向上のための小児輪状甲状間膜穿刺モデルの開発：3D プリンターの適応 (虻川有香子)
7. 平成 28 年度大学教育再生戦略推進費「課題解決型高度医療人材養成プログラム」・新規：慢性の痛みに関する教育プログラムの構築 (上園晶一)
8. 令和元年度慢性疼痛診療体制構築モデル事業・新規：東京慈恵会医科大学附属病院内における多職種ならびに複数科による慢性疼痛診療体制の構築 (上園晶一)
9. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (慢性の痛み政策研究事業)・新規：慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究 (上園晶一)

〔点検・評価〕

2019年度に、臨床における8部門(本院における麻酔部、集中治療部、ペインクリニック、緩和ケア、術後疼痛管理部)の5部門、ならびに、第三病院麻酔部、葛飾医療センター麻酔部、柏病院麻酔部)が確立し、それぞれの部署において、臨床研究への取り組みがおおいに前進した。2019年度も引き続きすべての部署において臨床研究がアクティブに行われた。臨床研究でまとまった結果が出たものに関しては学会発表にとどまらず、英文論文にできるよ

うな指導体制も徐々に整いつつある。基礎研究部門も、米国からの帰国者を中心に活発化し、科研費の獲得数も安定している。

研究業績

I. 原著論文

- 1) Ishii S, Oyama K, Arai T, Itoh H, Shintani S, Suzuki M, Kobirumaki-Shimozawa F, Terui T, Fukuda N, Ishiwata S. Microscopic heat pulses activate cardiac thin filaments. *J Gen Physiol* 2019; 151(6) : 860-9.
- 2) Kobirumaki-Shimozawa F, Nakanishi T, Shimozawa T, Terui T, Oyama K, Li J, Louch WE, Ishiwata S, Fukuda N. Real-time in vivo imaging of mouse left ventricle reveals fluctuating movements of the intercalated discs. *Nanomaterials (Basel)*. 2020; 10(3) : 532.
- 3) Takaori K, Uchino S, Takinami M. Impact of point-of-care creatinine monitoring on early detection of acute kidney injury in critical illness. *J Nephrol* 2019; 32(6) : 927-35.
- 4) Yoshida T, Uchino S, Sasabuchi Y, Hagiwara Y; AFTER-ICU study group. Prognostic impact of sustained new-onset atrial fibrillation in critically ill patients. *Intensive Care Med* 2020; 46(1) : 27-35.
- 5) Irie H, Okamoto H, Uchino S, Endo H, Uchida M, Kawasaki T, Kumasawa J, Tagami T, Shigemitsu H, Hashiba E, Aoki Y, Kurosawa H, Hatakeyama J, Ichihara N, Hashimoto S, Nishimura M; JIPAD Working Group in the Japanese Society of Intensive Care Medicine. The Japanese Intensive care Patient Database (JIPAD) : a national intensive care unit registry in Japan. *J Crit Care* 2020; 55 : 86-94.
- 6) Saito K, Uchino S, Fujii T, Saito S, Takinami M, Uezono S. Effect of low-dose atrial natriuretic peptide in critically ill patients with acute kidney injury : a retrospective, single-center study with propensity-score matching. *BMC Nephrol* 2020; 21(1) : 31.
- 7) Fujii T, Udy A, Licari E, Romero L, Bellomo R. Sodium bicarbonate therapy for critically ill patients with metabolic acidosis : a scoping and a systematic review. *J Crit Care* 2019; 51 : 184-91.
- 8) Miki S, Tsujimoto Y, Shimada H, Tsujimoto H, Yasuda H, Kataoka Y, Fujii T. Non-pharmacological interventions for preventing clotting of extracorporeal circuits during continuous renal replacement therapy. *Cochrane Database Syst Rev* 2019; 5 : CD013330.
- 9) Fujii T, Udy AA, Deane AM, Luethi N, Bailey M, Eastwood GM, Frei D, French C, Orford N, Shehabi

- Y, Young PJ, Bellomo R. VITAMINS trial investigators. Vitamin C, hydrocortisone and thiamine in patients with septic shock (VITAMINS) trial: study protocol and statistical analysis plan. *Crit Care Resusc* 2019; 21(2) : 119-25.
- 10) Tsujimoto Y, Fujii T, Onishi A, Omae K, Luo Y, Imai H, Takahashi S, Itaya T, Pinson C, Nevitt SJ, Furukawa TA. No consistent evidence of data availability bias existed in recent individual participant data meta-analyses: a meta-epidemiological study. *J Clin Epidemiol* 2020; 118: 107-114. e5.
- 11) Hudson EP, Collie JT, Fujii T, Luethi N, Udy AA, Doherty S, Eastwood G, Yanase F, Naorungroj T, Bitker L, Abdelhamid YA, Greaves RF, Deane AM, Bellomo R. Pharmacokinetic data support 6-hourly dosing of intravenous vitamin C to critically ill patients with septic shock. *Crit Care Resusc* 2019; 21(4) : 236-42.
- 12) Fujii T, Belletti A, Carr A, Furukawa TA, Luethi N, Putzu A, Sartini C, Salanti G, Tsujimoto Y, Udy AA, Young PJ, Bellomo R. Vitamin C therapy for patients with sepsis or septic shock: a protocol for a systematic review and a network meta-analysis. *BMJ Open* 2019; 9(11) : e033458.
- 13) Fujii T, Luethi N, Young PJ, Frei DR, Eastwood GM, French CJ, Deane AM, Shehabi Y, Hajjar LA, Oliveira G, Udy AA, Orford N, Edney SJ, Hunt AL, Judd HL, Bitker L, Cioccarri L, Naorungroj T, Yanase F, Bates S, McGain F, Hudson EP, Al-Bassam W, Dwivedi DB, Peppin C, McCracken P, Orosz J, Bailey M, Bellomo R, VITAMINS Trial Investigators. Effect of vitamin C, hydrocortisone, and thiamine vs hydrocortisone alone on time alive and free of vasopressor support among patients with septic shock: the VITAMINS randomized clinical trial. *JAMA* 2020; 323(5) : 423-31.
- 14) Saito H, Shiraishi A, Nomori H, Matsui H, Yoshida K, Matsue Y, Fujii T, Kawama K. Impact of age on the recovery of six-minute walking distance after lung cancer surgery: a retrospective cohort study. *Gen Thorac Cardiovasc Surg* 2020; 68(2) : 150-7.
- 15) Jude B, Naorungroj T, Neto AS, Fujii T, Udy A, Bellomo R. Sodium bicarbonate in 5% dextrose: can clinicians tell the difference? *Crit Care Resusc* 2020; 22(1) : 80-2.
- 16) Naorungroj T, Neto AS, Fujii T, Jude B, Udy A, Bellomo R. Stability of bicarbonate in normal saline: a technical report. *Crit Care Resusc* 2020; 22(1) : 83-5.
- 17) Tsujimoto H, Tsujimoto Y, Nakata Y, Fujii T, Takahashi S, Akazawa M, Kataoka Y. Pharmacological interventions for preventing clotting of extracorporeal circuits during continuous renal replacement therapy. *Cochrane Database Syst Rev* 2020; 3: CD012467.
- 18) Saito S, Uchino S, Hayakawa M, Yamakawa K, Kudo D, Iizuka Y, Sanui M, Takimoto K, Mayumi T, Sasabuchi Y. Japan Septic Disseminated Intravascular Coagulation (JSEPTIC DIC) study group. Epidemiology of disseminated intravascular coagulation in sepsis and validation of scoring systems. *J Crit Care* 2019; 50: 23-30.
- 19) Norisue Y, Santanda T, Homma Y, Tomita S, Saito S, Kataoka J, Fujimoto Y, Nabeshima T, Tokuda Y, Fujitani S. Ultrasonographic assessment of passive cephalic excursion of diaphragm during cough expiration predicts cough peak flow in healthy adults. *Respir Care* 2019; 64(11) : 1371-6.

II. 総 説

- 1) 木山秀哉. Apnoeic Oxygenation in OR. *臨麻* 2019; 43(10) : 1359-66.
- 2) 近藤一郎. 【周術期疼痛管理】 Acute Pain Service の実際 (医療経済). *ペインクリニック* 2020; 41(1) : 31-40.
- 3) 八島 望, 香取信之. 【ICU 治療指針 III】 手術・麻酔と周術期管理 周術期のワルファリンの管理 (緊急手術対策も含む). *救急集中治療* 2019; 31(4) : 1557-62.
- 4) 香取信之. 【生理学】 止血の生理学 出血はどのようにして起こるのか? *Intensivist* 2020; 12(1) : 183-8.
- 5) 甫母祐子, 虻川有香子. 【新生児外科疾患の精神・身体発育】 新生児全身麻酔の影響. *小児外科* 2019; 51(1) : 15-8.
- 6) 藤岡頌子, 鈴木昭広. 【Point-of-Care 超音波 - basic から advanced skill まで -】 ペーシック編 アドバンス編に必要な各臓器における超音波評価法の基本 気道エコーの基本. *救急集中治療* 2019; 31(1) : 39-46.
- 7) 坂木孝輔, 内野滋彦, 宮城久仁子. ICU 入室患者の記憶 予後に与える影響と妄想的記憶に対する介入. *日集中医誌* 2019; 26(4) : 241-8.
- 8) 浅野健吾, 鈴木昭広. 【換気モードを整理する】 周辺事項 Monitoring Lung echo. *ICU と CCU* 2019; 43(6) : 339-44.
- 9) Kurata J. Slow magnetic resonance oscillations diagnose chronic low back pain. *Br J Anaesth* 2019; 123(5) : 536-9.
- 10) 倉田二郎. 痛みが慢性化する脳内機構の解明. *麻酔* 2019; 68(増刊) : S211-9.

Ⅲ. 学会発表

- 1) Otani S, Nabatame M, Shimizu K, Kondo I. (E-Abstract Sessions) Femoral neuropathy in gynecological surgery for benign tumors: countermeasures for successful prevention. ANESTHESIOLOGY 2019 (American Society of Anesthesiology (ASA) Conference 2019). Orlando, Oct.
- 2) Shimizu K, Nabatame M, Otani S, Takano K, Koike M, Ikeda K, Suga Y, Yamakawa K, Kondo I. (E-Abstract Sessions) Very low-concentration epidural levobupivacaine as a part of multimodal analgesia for postoperative pain management and adverse effects of gynecological surgery. ANESTHESIOLOGY 2019 (American Society of Anesthesiology (ASA) Conference 2019). Orlando, Oct.
- 3) Sakurai Y. Safety study of hypotension during epidural labor analgesia by PIEB (Programmed Intermittent Epidural Bolus). The 23rd Korean Society of Obstetric Anesthesiologists Symposium. Seoul, June.
- 4) Tajima K, Yamakawa K, Ishiguro Y, Sunaga H, Doi M, Yagi K, Miyazaki C, Uezono S. (Oral and Abstract Group Discussion Session) Five-year experience of brugada phenocopy for scheduled noncardiac surgery. ANESTHESIOLOGY 2019 (American Society of Anesthesiology (ASA) Conference 2019). Orlando, Oct.
- 5) Doi M, Yamakawa K, Ishiguro Y, Yoshida C, Tajima K, Yagi K, Miyazaki C, Uezono S. (E-Abstract Sessions) Potential Advantage of General Anesthesia in Severe Aortic Stenosis on the Postoperative Major Cardiac Adverse Event. ANESTHESIOLOGY 2019 (American Society of Anesthesiology (ASA) Conference 2019). Orlando, Oct.
- 6) Yagi K, Yamakawa K, Tajima K, Doi M, Miyazaki C, Amagai C, Ishiguro Y, Uezono S. (E-Abstract Sessions) Analysis of unplanned intensive care unit admission from post-anesthesia care unit versus the ward via PACU. ANESTHESIOLOGY 2019 (American Society of Anesthesiology (ASA) Conference 2019). Orlando, Oct.
- 7) Goto Y, Fujii T, Uchino S, Doi K, Katayama S. Influence of contrast media on renal function and outcomes in critically ill patients. ESICM (European Society of Intensive Care Medicine) 32nd Annual Congress Berlin. Berlin, Sept.
- 8) Yoshida T, Uchino S. The clinical course and prognostic impact of sustained new-onset atrial fibrillation in critically ill patients: a multicenter prospective cohort study. ESICM (European Society of Intensive Care Medicine) 32nd Annual Congress Berlin. Berlin, Sept.
- 9) Fujii T. VITAMINS trial. 14th World Congress of Intensive Care. Melbourne, Oct.
- 10) Fujii T. VITAMINS trial. Critical Care Reviews Meeting 2020. Belfast, Jan.
- 11) Kase Y, Takeda S, Sato H, Hazama S, Ota S, Hiroe T, Kiyama S, Omura K, Miyoshi S, Suzuki A. Simulation-based acute airway management training program for various medical staff. IMSH (International Meeting on Simulation in Healthcare) 2020. San Diego, Jan.
- 12) Sushuang T, Li T, Kamma T, Shinto E, Ito A, Ota T, Kurata J. The deactivation of posterior cingulate cortex in offset analgesia in patients with chronic pain: an fMRI study. NEURO2019 (第42回日本神経科学大会, 第62回日本神経化学大会). 新潟, 7月.
- 13) Ito A, Kobinata H, Li T, Sushuang Y, Shinto E, Kamma T, Ota T, Kurata J. (Paper/Cloth Poster) Impaired interhemispheric and descending pain modulation in chronic pain patients. ANESTHESIOLOGY 2019 (American Society of Anesthesiology (ASA) Conference 2019). Orlando, Oct.
- 14) Kurata J. Mechanisms of pain chronification - insights from human multimodal magnetic resonance imaging. Grand Rounds at the Department of Anesthesiology and Perioperative Medicine, University of Pittsburgh School of Medicine. Pittsburgh, Apr.
- 15) Kurata J. What does brain imaging tell us about pain? International Symposium on: "New Technology can Improve Safety and Quality in Anaesthesia and Intensive Care?" Rome, Nov.

Ⅳ. 著 書

- 1) 木山秀哉, C. 術中管理 (Ⅱ): 基本的な管理法・手技 1. 輸液管理 25. すべての HES 製剤は出血量を増加させ、腎臓に悪影響を及ぼすのか? →分子量だけでなく置換度, C2/C6 比の認識も必要なのですね. 国沢卓之編. 一歩進んだ麻酔管理: 常識は常に真実か? 東京: 克誠堂出版, 2019. p.79-82.
- 2) 内野滋彦, X. 泌尿器・生殖器系疾患の診断・治療・ケア 107. acute kidney injury の診断・治療指針. 岡元和文編. 救急・集中治療最新ガイドライン 2020-21. 東京: 総合医学社, 2020. p.387-9.

Ⅴ. その他

- 1) 坪川恒久. 【2019のシェヘラザードたち】(第16夜) AOCAB狂想曲. LiSA 別冊 2019: 26(別冊19春号): 101-6.

- 2) Sato K, Katori N, Suga Y, Kiyama S, Uezono S. Coagulation assessment with thromboelastography during abdominal endovascular aneurysm repair in a patient with hemophilia A. JA Clin Rep 2020; 6(1) : 7.
- 3) Fujii T, Udy AA, Venkatesh B. Comparing apples and oranges : the vasoactive effects of hydrocortisone and studies investigating high dose vitamin C combination therapy in septic shock. Crit Care Resusc 2019; 21(3) : 152-5.
- 4) 三尾 寧. 「酸素の問題点を考える」 虚血再灌流障害. Med Gas 2019; 21(1) : 36-9.
- 5) 佐野友里. 【術前～術後まで 患者アセスメントアセ子とメン太のはじめてナビ】 きほん 一般患者編 術後管理. オペナージング 2019; 34(8) : 779-82.

リハビリテーション

医学講座

	講座担当教授：安保 雅博	中枢神経疾患のリハビリテーション, 失語症および高次脳機能障害, 運動生理, リンパ浮腫
教	授：渡邊 修	脳外傷のリハビリテーション, 高次脳機能障害
教	授：小林 一成	神経筋疾患のリハビリテーション, 脳卒中中の機能予後, 歩行分析
准 教	授：佐々木信幸	脳卒中のリハビリテーション, 脳画像解析
准 教	授：武原 格	脳卒中のリハビリテーション, 嚥下障害, 脳損傷者の自動車運転 <small>(東京都リハビリテーション病院に outward 中)</small>
准 教	授：船越 政範	脳卒中のリハビリテーション, 小児のリハビリテーション <small>(栃木県立リハビリテーションセンターに outward 中)</small>
講	師：竹川 徹	運動器のリハビリテーション, 痙縮の治療 <small>(東京通信病院に outward 中)</small>
講	師：鄭 健錫	脳外傷のリハビリテーション, 脊髄損傷・義肢装具 <small>(神奈川県立リハビリテーション病院に outward 中)</small>
講	師：上出 杏里	障害者スポーツ, 小児発達障害 <small>(国立身体障害者リハビリテーションに outward 中)</small>
講	師：宮村 紘平	脳卒中のリハビリテーション, 小児のリハビリテーション <small>(河北リハビリテーション病院に outward 中)</small>
講	師：高木 聡	神経筋疾患のリハビリテーション <small>(品川リハビリテーション病院に outward 中)</small>
講	師：山田 尚基	脳卒中のリハビリテーション